



横浜市立富岡小学校

学校だより 2月号



努力はたし算 協力はかけ算

昔から言われている言葉に、「努力はたし算、協力はかけ算」という言葉があります。私が担任をしていたときに、よくこの言葉を子どもたちに言っていました。今回はこの言葉について話をしたいと思います。

1年生は「たし算」はわかりますか？ 「 $2+3=5$ 」のような計算のことです。かけ算は、まだ、1年生は習っていないと思いますが、2年生の九九で学習する「 $2\times 3=6$ 」のような計算のことを言います。

最初の「努力はたし算」とは、「毎日こつこつ努力を積み重ねていくと、たし算のように少しずつ結果が積み重なっていく」という意味です。例えば、本を1日3ページずつ読んでいくと、1日目は3ページですが、2日目には、「 $3+3=6$ 」で6ページ、3日では「 $3+3+3=9$ 」で9ページと、だんだん読み進めていくことができます。こうして100日間読み続けていくと、300ページの本を読むこととなります。このように1日たった3ページでも、毎日こつこつと読む努力を続けていくと、どんな厚い本でも読み終わることができます。これが、「努力はたし算」です。

次に、「協力はかけ算」の意味です。「かけ算」は「たし算」よりも、結果が大きくなることがあります。例えば、最初の「 $2+3=5$ 」と「 $2\times 3=6$ 」も、かけ算の方が答えが大きくなります。これは、男子2人と女子3人が、ある作業をするとき、そのままではたし算の「5」の結果しか現れませんが、この5人が協力して取り組むと、「 $2\times 3=6$ 」のようにたし算より大きい「6」の結果となります。つまり、「みんなで協力して取り組むと、かけ算のように大きな結果が現れる」ということです。これが「協力はかけ算」です。

「協力はかけ算」について、もう一つ面白い話をします。「3」の力で3人の人が協力して取り組むと、「 $3\times 3\times 3=27$ 」と、「27」の結果が現れ、「 $3+3+3=9$ 」のたし算より大きな結果となります。しかし、もしこの3人のうち、1人でもまったく協力しない人、つまり「0」の力しか出さない人がいると結果はどうなるでしょう？ 「 $3\times 3\times 0=0$ 」と、答えは「0」になってしまいます。つまり「何の結果も出ない」ということです。みんなで協力し合って取り組むと大きな結果となりますが、たった一人でも協力しない人がいると、結果は「0」になってしまいます。ですから、みんなで協力し合うことがとても大切なのです。

「努力はたし算」。まず一人ひとりが自分のできることを、毎日こつこつと取り組んで努力していきましょう。次に「協力はかけ算」。掃除や給食、学級の係活動など、みんなで取り組む活動のときは、みんなで協力し合っていきましょう。そうすると大きな結果が生まれます。「よいこと」を一人ひとりが積み重ねていくと「たし算」のように結果が増えていきます。そして、「よいこと」をみんなで協力して行くと、「かけ算」のように、たし算よりもっと大きな結果が現れます。

ぜひ「努力はたし算、協力はかけ算」の言葉を忘れず、毎日を過ごしていきましょう。そうするともっと「楽しい学校」になるとと思います。

今後も温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

〈副校長 青木 智〉